

2024年 3月期 第1四半期 決算補足説明資料

2023.8.4

Supplementary Materials for Financial Results

株式会社 **ヤギ** 証券コード : 7460

P3	2024年3月期 第1四半期 決算ポイント(連結)
P4	業績内容(連結)
P7	セグメント別の業績
P12	バランスシート
P13	最近の主なTOPICS
P16	株主還元方針
P17	【ご参考】セグメント体制一覧

2024年3月期 第1四半期 決算ポイント(連結)

■ 中期経営計画2026「Heritage to the future」初年度

最終年度 財務目標「売上高950億円、経常利益32億円」達成に向けて進行中

業績概要

- 前年同期比 増収増益（主に売上総利益率の改善が要因）
- マテリアル事業、アパレル事業が売上高を伸長
- 利益はアパレル事業が牽引

財務基盤

- 自己資本比率は前期末比2ポイント上昇の51.7%
- ROE(通期予想)は4.0%

通期計画

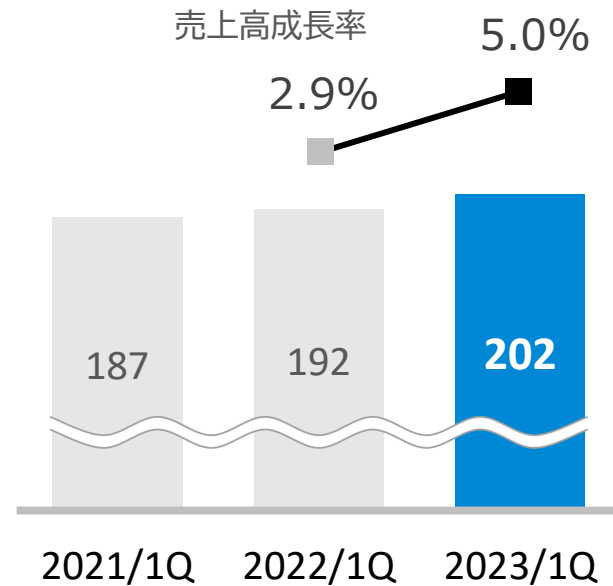
- 通期業績予想及び配当予想は変更なし

業績内容 | 前年同期比増減(連結)

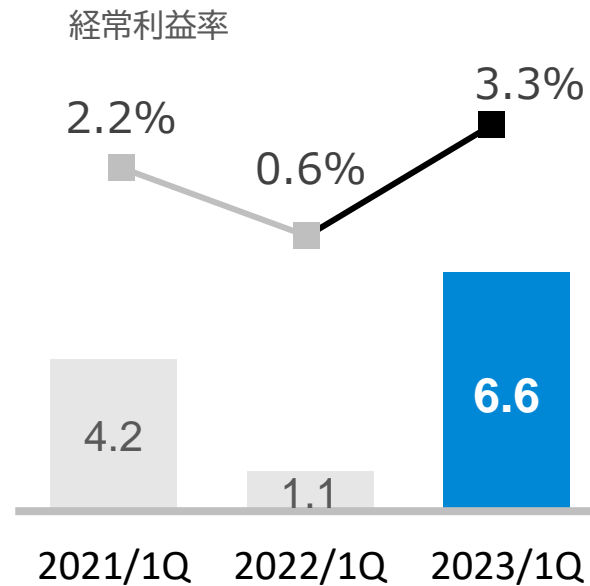
- コストアップ要因の改善に加え、不採算商売の見直しや経費削減の改善効果が収益向上に貢献
- 世界的なエネルギー価格上昇、原材料価格の高騰、為替変動への耐性は継続課題

[単位:億円]

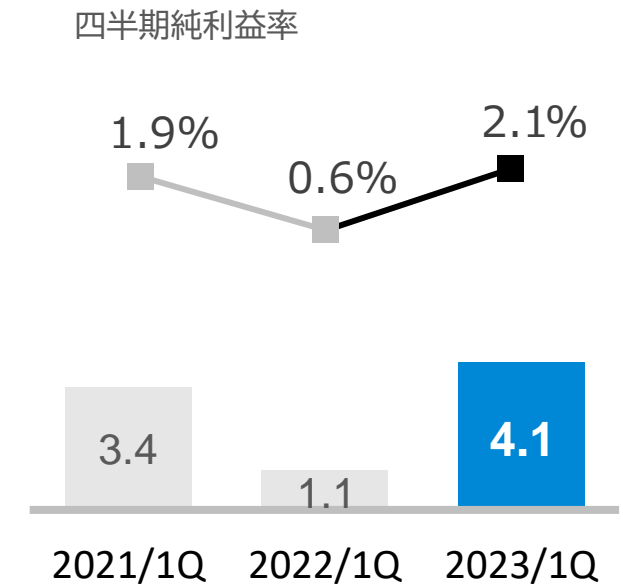
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期純利益



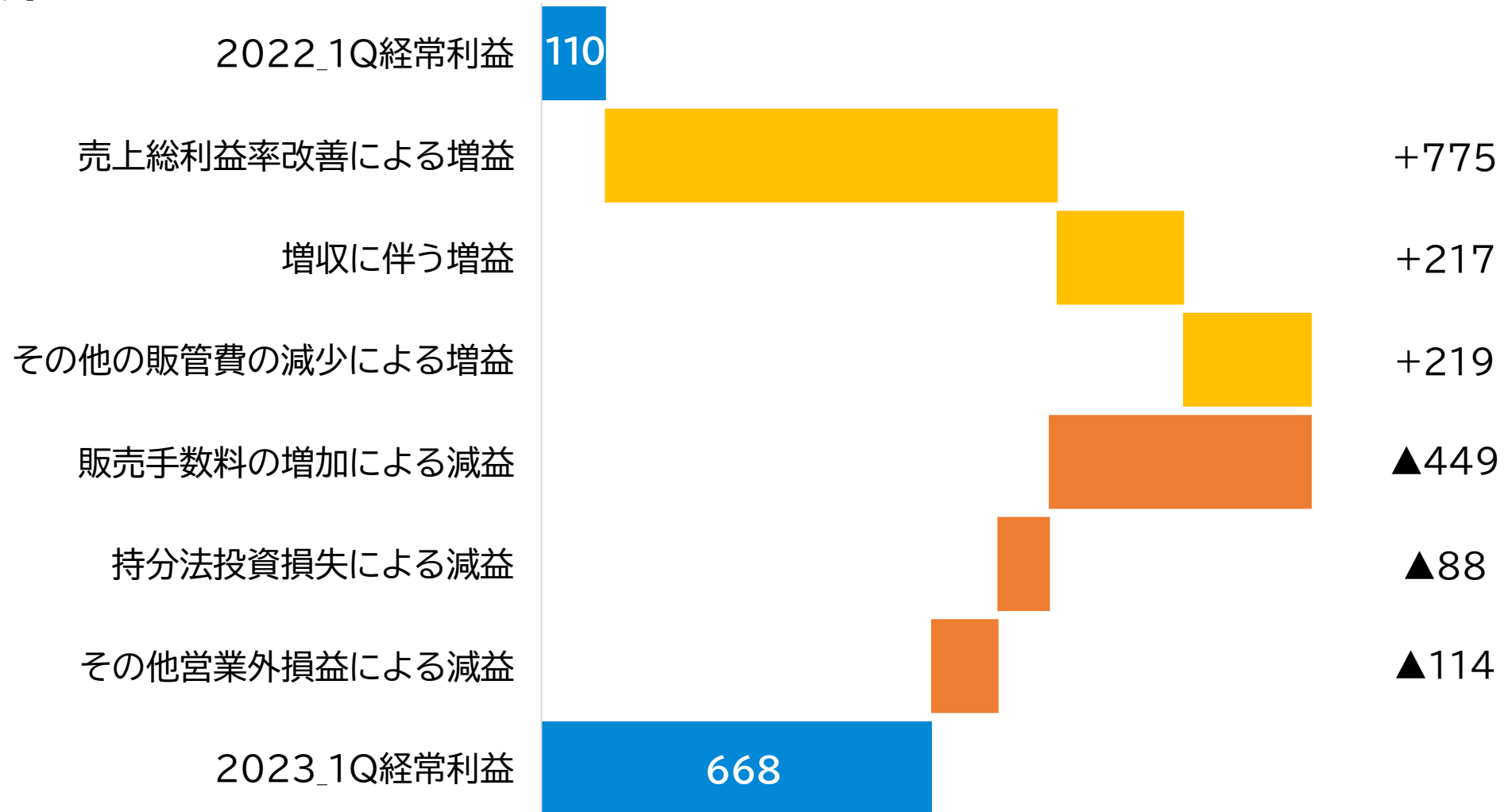
業績内容 | 通期業績予測に対する進捗状況(連結)

- 国内需要に回復の兆しが見られ1Qの業績は堅調であったが、2Q以降も不透明な外部環境の変化等への対応が必要

[単位:億円]	2022年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	増減		通期業績予想	
			(金額)	(%)	公表値	進捗率
売上高	192	202	+9.6	+5.0%	870	23.2%
営業利益	▲1.3	6.2	+7.6	-%	22	28.4%
経常利益	1.1	6.6	+5.5	+505.3%	24	27.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.1	4.1	+3.0	+275.0%	15	27.6%

業績内容 | 経常利益の増減要因(連結)

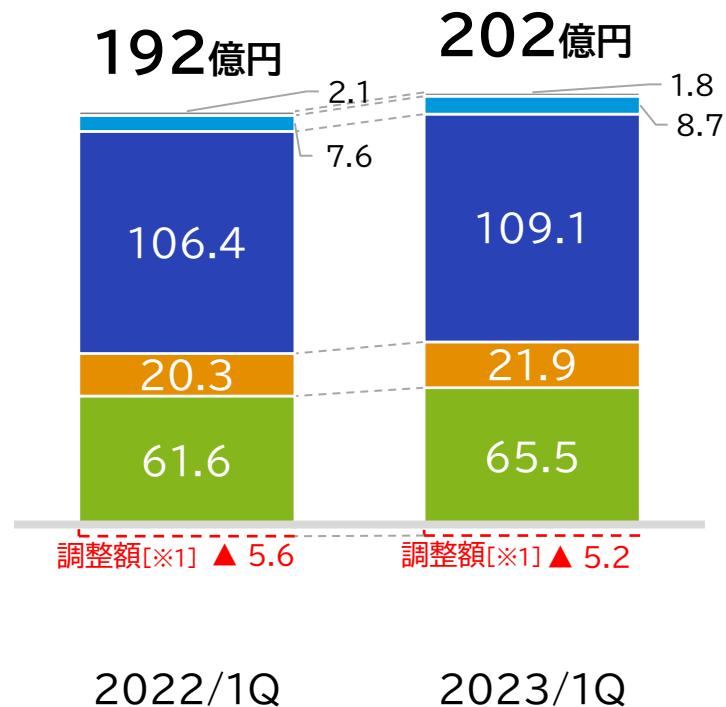
[単位:百万円]



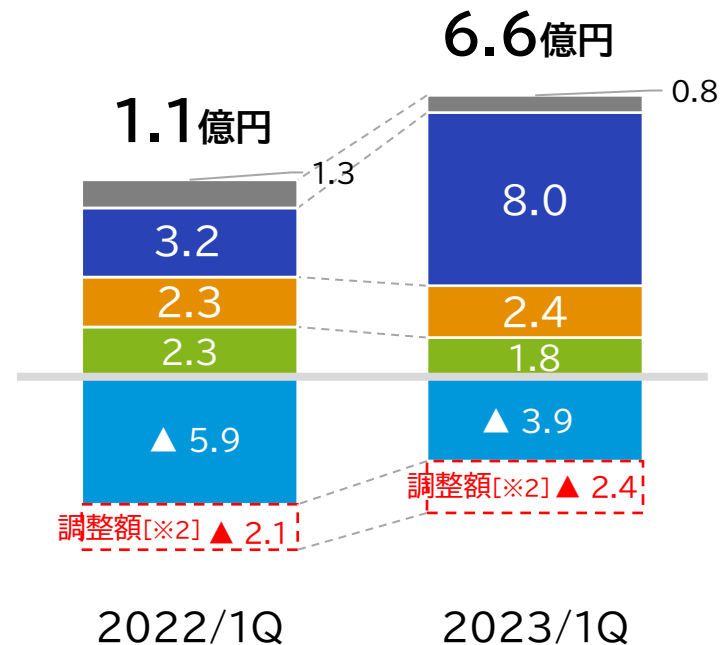
セグメント別の増減

- マテリアル事業、アパレル事業が売上高を伸長。セグメント利益はアパレル事業が牽引

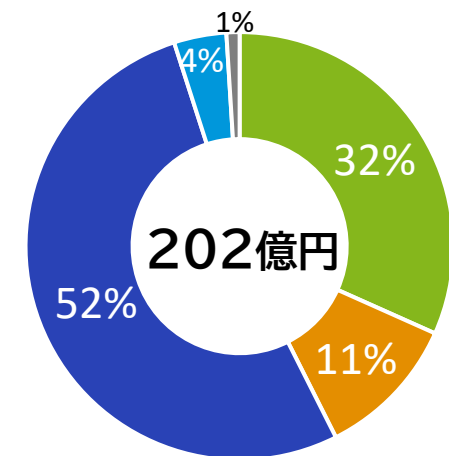
売上高



セグメント利益



セグメント別売上高構成



■ マテリアル ■ ライフスタイル ■ アパレル ■ ブランド・リテール ■ 不動産

[※1] 売上高の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
[※2]セグメント利益または損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。



主な増減要因

- 高機能加工系の販売は堅調、天然繊維は産地の冷え込みにより低調
- 綿花相場は下げ止まりつつあるが、為替相場が不安定な状況が続き、利益率が低下
- ニット生地販売は、春夏物や秋冬先物の需要はあるものの、販売先の追加生産は低調

今後の見通し

- 高付加価値差別化原糸から最終製品まで、グループ一貫通貫での取組みを強化
- テキスタイルECサイト「Fably」の更なる機能拡充と、国内外に向けた独自のサービス提供
- 海外市場向け原糸・生地販売体制の強化

[単位:億円]	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	61.6	65.5	+3.9	+6.4%
セグメント利益 (利益率)	2.3 (3.8%)	1.8 (2.8%)	▲0.4	▲21.2%

ライフスタイル事業



主な増減要因

- 生活資材の中でも清掃用品事業が堅調
- スポーツイベントやフィットネス需要の増加に伴い、スポーツ関連商材の販売が堅調

今後の見通し

- 顧客ニーズに対応した新規素材による高付加価値商材の提案強化
- 原料価格高騰、人手不足への対応など安定した商品供給のためのサプライチェーン強化

[単位:億円]	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	20.3	21.9	+1.5	+7.8%
セグメント利益 (利益率)	2.3 (11.6%)	2.4 (11.0%)	+0.0	+3.0%



主な増減要因

- 消費マインド及びインバウンド需要が回復基調
- 価格転嫁やコスト削減、不採算商売の見直しが進み、採算性が向上

今後の見通し

- 景況感が回復するにつれ、百貨店などの中高価格帯向けビジネスが堅調に推移と予想
- ブランドライセンス事業の実績を活かし、商材・販路の拡大に商機
- 顧客からの生産地に対する要望が本格化しており、ベトナムやバングラデシュでの生産を拡充

[単位:億円]	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	106.4	109.1	+2.7	+2.6%
セグメント利益 (利益率)	3.2 (3.0%)	8.0 (7.4%)	+4.8	+149.2%

ブランド・リテール事業



主な増減要因

- 国内消費マインドの反動とインバウンド需要の回復に伴い販売増
- 春夏商材の取扱いも拡充し、堅調に推移

今後の見通し

- ブランド事業は、秋冬商品ラインナップの充実を計画通り進行中
- リテール事業は、店舗開発を展開し、売上を拡大予定

[単位:億円]	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	7.6	8.7	+1.1	+15.2%
セグメント利益 (利益率)	▲5.9 (-%)	▲3.9 (-%)	+2.0	-%

バランスシート

[単位:億円]

2023年3月期末

現預金 109	他負債 227	純資産 362億円
他流動資産 350	有利子負債 140	
たな卸資産 104	株主資本 346	
固定資産 165		

その他の包括利益累計額合計 16

2024年3月期 第1Q末

現預金 91	他負債 198	純資産 374億円
他流動資産 362	有利子負債 152	
たな卸資産 101	株主資本 346	
固定資産 170		

その他の包括利益累計額合計 28

■財務健全性

	2023年3月期末	2024年3月期 第1Q末	増減
総資産	730	725	▲4
有利子負債	140	152	+12
自己資本	362	374	+12
自己資本比率	49.7%	51.7%	+2.0%

■資本効率

	2023年3月期末	2024年3月期末 (予想)	増減
ROE	2.9%	4.0%	+1.0pt

中期経営計画(2026)での財務目標ROE: 6.0% 以上

※ROE(通期予想)=(業績予想 親会社株主に帰属する当期純利益)÷((期首自己資本+予想期末自己資本)÷2)×100

最近の主なTOPICS(1/3)

▶▶▶ 「NIKE KYOTO」がオープン



韓国のスポーツアパレル小売企業であるWINWIN SPORTS社と当社が共同出資して設立した、株式会社 WINWIN YJVが運営するNIKE Riseのコンセプトストア「NIKE KYOTO」が、本年7月にオープンいたしました。

「NIKE KYOTO」とは、「Nike Rise(ナイキ ライズ)」のコンセプトストアであり、革新的なパフォーマンス、スタイル、最新のトレンドに関心のあるお客様のためのプロダクトが厳選されています。

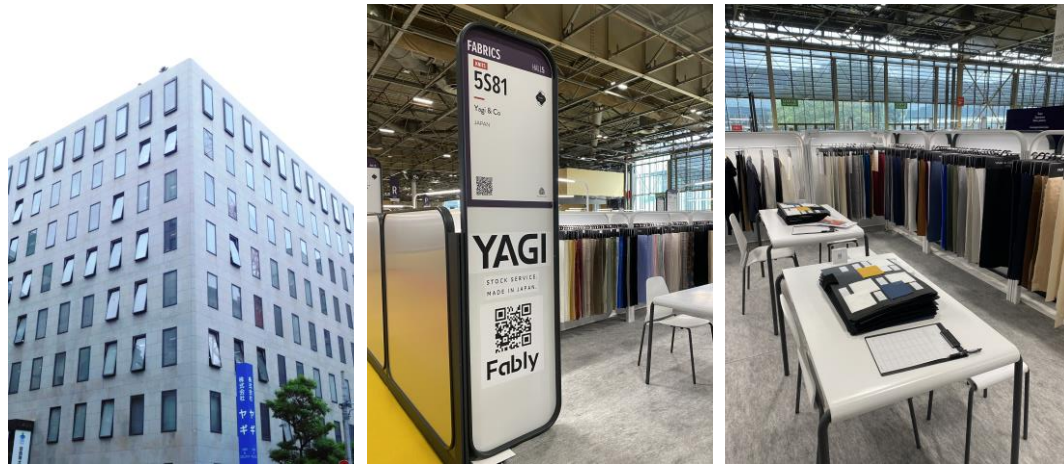
京都でスポーツを楽しむ全ての人々が気軽に立ち寄れる店舗として、新商品の展開や地域とストアがつながるコミュニティ活動を通して、お客様のニーズに合わせたサービスを提供します。

また、ナイキメンバーはNIKEアプリ・アット・リテールのサービスを通じ、様々な商品情報やサービスに店舗でもアクセスいただけます。



最近の主なTOPICS(2/3)

グローバルな見本市や展示会にヤギグループ各社が出展



2023.7.4-6

株式会社ヤギ

フランス・パリで開かれるテキスタイルを中心とした国際見本市「プルミエール・ヴィジョン・パリ」(PV)に出展。

環境配慮型素材ブランド「FORETHICA(フォレシカ)」シリーズから、リサイクルポリエステルフリースやオーガニックコットン素材(それぞれリサイクル製品・オーガニックテキスタイルの国際認証取得済)をはじめ、ウール素材や当社グループ会社のイチメン株式会社による生地も展示しました。

2023.7.2-4

株式会社ヴィオレッタ

フランス・パリで開かれるインナー素材の国際展示会「アンテルフィリエール(Interfilière)」に初出展。

ヴィオレッタは、ラッセル編み機を主とした自社設備を国内に保有している経編のニットメーカーで、本展示会でも強みのラッセル編み素材を中心に展示しました。



最近の主なTOPICS(3/3)

繊維製品のサステナビリティに関する団体への加盟を進行中

前期に特定した、当社の取り組むSDGsマテリアリティへの具体的なアクションの一つとして、繊維・ファッション産業のサステナビリティに関連する団体加盟を進めており、直近で以下の2団体へ加盟をいたしました。

JOCA(日本オーガニックコットン協会)

<https://joca.gr.jp/>

オーガニックコットン(以下、OC)製品の普及や国際認証活動をサポートし、OC製品の製造工程が人と環境にやさしく、環境への負荷を減らしていくことを目指す団体です。

OC製品の正しい普及と啓発を通じて、地球環境や生産者、製造者、周辺環境への負荷を軽減し、社会や消費者に対して正しい理解を促進することを目指し、OCの栽培技術の普及啓発や、OC製品の認知度向上、OCに関する情報の提供、認証基準の策定などを行っています。

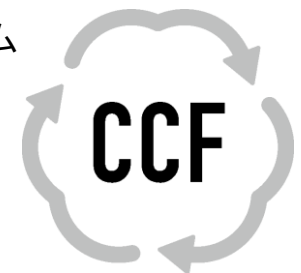


CCF(サーキュラー コットン ファクトリー)

<https://www.circularcottonfactory.jp/>

繊維に関わる全てのプロセスで排出される繊維ゴミを回収し再生させる「繊維の循環システム」の社会実装を目指す団体です。

繊維のリサイクル率は、わずか17.5%※ ならず。それに比べると、紙の回収率は 85%※(※CCF調べ)で、繊維 to 紙に変えることで、循環型のシステムへと導くことが可能です。



当社はこれらの団体での活動を通じ、繊維製品のサステナビリティを広めていくことのできるような活動を行い、取引先様や消費者の方々に向けて、繊維の持続可能な選択肢を提供し続けられる様、取り組んでまいります。

株主還元方針

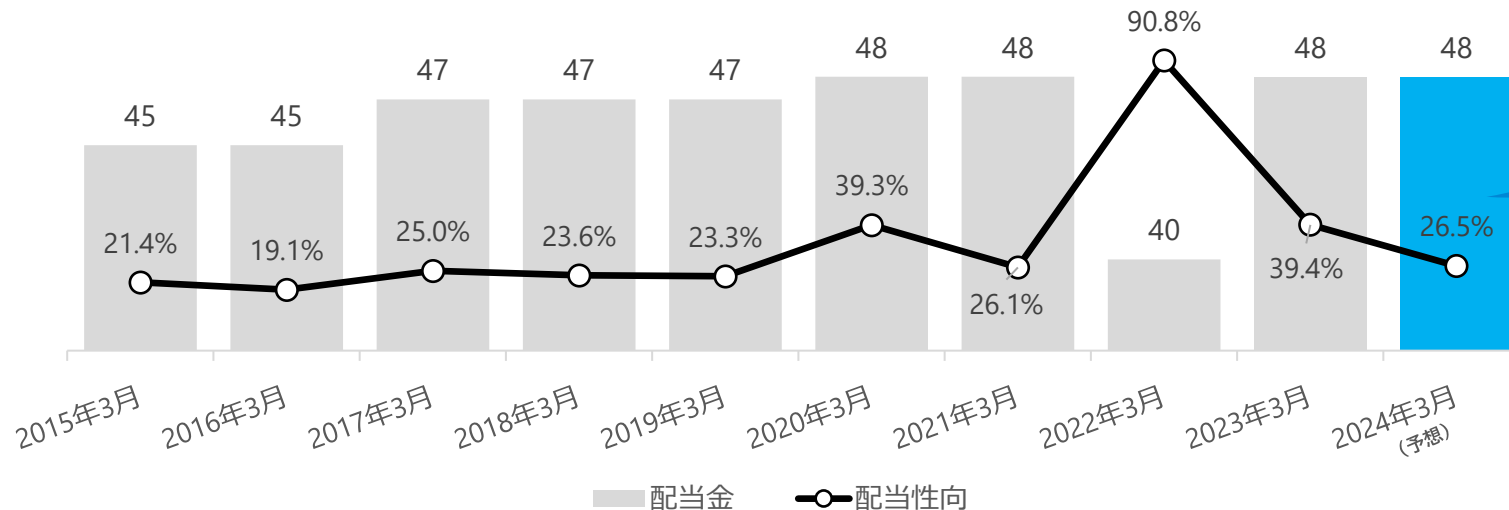
- 株主の皆様への利益還元を、経営の最重要政策のひとつとして位置付けております。
- 配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。

配当金の推移

中期経営計画2026
配当最終年度目標

配当金50円以上

[単位:円/株]



【ご参考】セグメント体制一覧

マテリアル事業	ライフスタイル事業	アパレル事業	ブランド・リテール事業	不動産事業
<p>ヤギ 原料・テキスタイル領域</p>	<p>ヤギ ライフスタイル領域</p>	<p>ヤギ アパレル領域</p>	<p>TATRAS INTERNATIONAL TATRAS S.R.L. TATRAS USA LLC 衣料品の製造・販売</p>	<p>マルス 不動産賃貸業</p>
<p>ヴィオレッタ ラッセル織物の製造販売</p>	<p>日本パフ 日帕化粧用具(嘉善) 化粧用パフ及び外衣製造</p>	<p>譜洛革時(上海)貿易 繊維製品の販売</p>	<p>アタッチメント 紳士服・婦人服及び服飾雑貨の デザイン、製造及び販売</p>	
<p>イチメン アパレル向け生地・製品の企画販売</p>	<p>ツバメタオル タオル・バスタオル等の製造販売</p>	<p>YAGI VIETNAM 衣料品の製造・販売</p>	<p>WINWIN YJV ㈱NIKE JAPANのリテールパートナーとして NIKEストアの運営担当</p>	
<p>山弥織物 撚糸・織物の製造販売</p>	<p>YAGI International INC. YAGI USA 繊維製品及び関連商品の輸出入販売</p>	<p>SOMIC メディアコマース事業</p>	<p>LINGBLE INC. グローバルECプラットフォーム 「Lingble」の運営</p>	
<p>YAGI & CO.,(H.K.) 八木貿易(深圳) 繊維製品及びその原料の輸出入販売</p>		<p>グレイス キャラクター商品の企画・製造・販売</p>		
<p>PROGRESS (THAILAND) 繊維原料・生地・繊維二次製品の 輸出入・販売</p>		<p>FMB 3Dモデリングを中心とした アパレル業界向けテクノロジーサービス</p>		
<p>PT.SANDANG MAJU LESTARI 繊維製品の販売</p>				
<p>swatchbook Inc. 世界最大級の3D デザイン、 デジタルマテリアルライブラリーの運営</p>				



VISION

株式会社ヤギの定める

VISION

ヤギグループは人・地域・国を結びながら、マテリアルから
アパレル、ブランド・ライフスタイルに至る繊維の可能性を
イノベーションによって引き出していく

お客様の声に耳を傾け、社会と共有できる価値を
見出すことにより人々の豊かで快適な生活に貢献し、
社会とヤギグループの持続的成長を結実させていく

それを実現させるために仲間同士がたたえ合い、
健康でイキイキと働く環境を構築する

YAGI

Heritage to the future

本資料は、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載された将来の予測等は、発表の時点で入手可能な情報に基づいたものであり、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。

従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをお控えくださいますようお願いいたします。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。